



関中央ロータリークラブ

2022-2023 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022~2023 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2077回例会 2022年9月8日(木) 担当/ロータリー情報委員会
卓話 関市議会議員 波多野 源司様 テーマ「現在の市政について」

前例会の記録 第2076回 2022年9月1日(木)
ガバナー公式訪問3RC合同例会/担当 会長・幹事

【式次第】

- 1. 点鐘 関中央RC会長 藤村伸隆
- 1. 国歌斉唱「君が代」
- 1. ロータリーソング「奉仕の理想」清聴
- 1. お客様の紹介 関RC会長 古田貴巳

国際ロータリー第2630地区

- ガバナー 高橋伸治様 (岐阜RC)
- 地区代表幹事 山岡利安様 (岐阜RC)
- 地区幹事 上松泰歳様 (岐阜RC)
- 東海北陸道グループ
- ガバナー補佐 亀井高利様 (関RC)
- 地区危機管理委員会 委員・
- R財団部門委員長・学友委員会 委員長 堀部哲夫様 (関RC)
- 米山記念奨学委員会 委員
- 小川定彦様 (美濃RC)

- 公共イメージ委員会 委員
- 土屋敏幸様 (関中央RC)

- 1. 会長挨拶 関中央RC会長 藤村伸隆
- 1. 委員会報告 美濃RC、関RC、関中央RC
出席委員会・ニコボックス委員会
- 1. 幹事報告 美濃RC、関RC、関中央RC幹事
- 1. 本日のプログラム 高橋ガバナー「卓話」
- 1. お礼のことば 閉会挨拶美濃RC会長 河合有二
- 1. 点鐘 関中央RC会長 藤村 伸隆

*会長あいさつ

関中央RC 藤村伸隆会長

皆さん、こんにちは。3クラブを代表しましてご挨拶をさせていただきます。関中央ロータリークラブの藤村伸隆と申します。よろしくお願ひ致します。



本日は3クラブ合同ガバナー公式訪問例会を開催しましたところ、ガバナー 高橋伸治様、地区代表幹事 山岡利安様、地区幹事 上松泰歳様、ガバナー補佐 亀井高利様はじめ、先程ご紹介されました地区役員の皆様には、大変お忙しい中、例会において頂きましてありがとうございます。本日はご指導のほど、よろしくお願ひ致します。ガバナー公式訪問例会が対面で開催されるのは3年ぶりになりま

す。お盆が過ぎてコロナ感染状況が大変な事になっておりまして、本当に開催できるのかと心配していましたが、高橋ガバナー、亀井ガバナー補佐のご指導も頂き、今日こうして例会を開催することが出来ました。皆様にも大変ご迷惑をおかけしますが、コロナ感染対策には十分注意頂きます事をよろしくお願い致します。これからはウイズコロナ、コロナ禍の中で共存していく様な時代が来るのでしょうか。

私は今、中学校の運営協議会委員を務めているのですが、学校へ見学に行ったのですが、合唱もマスクをして生徒達が歌っているのを拝見して本当にかわいそうになりましたが、その後の生徒達のお話はマスクをしている事はもう当たり前になっている様子で、まったく気にして無い事に驚きました。それでも私は、コロナ禍以前に早く戻ってほしいと心より願っております。私達のクラブにおきましても、このコロナ禍で満足な活動はできておりません。

又、会員の減少、高齢化が進んでおりまして、会員増強が一番の課題になっております。この何年か、いろいろな形で会員増強に努めているのですがこのコロナ禍という事もあり中々成果があがっておりません。もちろん例会のあり方、いろいろな事業等も含め会員皆で、考えて頑張っているのですが、結果が出て無い状況です。

高橋ガバナーの方針「ロータリーの心と原点」を大切に、「描こう明るい未来を」、ロータリーの心とは「寛容の心を基盤とした友愛と信頼」、2つのモットーである「超我の奉仕」・「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であり、原点とは「人づくり・真のロータリアンを育てる事」と考えます。と言ってみえます。この言葉は、今の私達のクラブの色々な活動にもっとも大切な事を言われていると思います。大変困難な時だからこそ、原点に戻って、笑顔をやささないで、いろいろな活動に頑張りたいと思います。

最後になりましたが、美濃ロータリークラブ、関ロータリークラブ、関中央ロータリークラブ、それぞれのクラブのますますのご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

*卓 話

国際ロータリー

第 2630 地区ガバナー 高橋伸治様

皆さんこんにちは。今年度ガバナーを務めさせていただきます高橋です。所属クラブは岐阜ロータリークラブです。どうぞよろしくお願ひします。

本日の公式訪問の卓話は、私は RI の役員という立場上、まず初めに RI 会長のテーマ、RI の戦略計画、そして現在 RI はどのような方向に向かっているのか、最後にガバナーの方針であります。地区スローガンと地区活動方針を皆さんにお伝えする役目があります。少し硬い話になってしまいますがお付き合いの程よろしくお願ひします。



1. ジェニファー・ジョーンズRI会長

2022～23年度 RI会長

ジェニファー・ジョーンズ

所属クラブ カナダ
ウインザー・ローズランドRC

Media Street Production Incの創業者兼社長
ウインザー大学の理事長
ウインザー・エセックス地域商工会議所会頭を歴任
ロータリー歴
1997年 入会
RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長
モデレーター、地区ガバナーを歴任
超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞
アーチ・クラフ・ソサエティ、ポール・ハリス
ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員



最初に、2022-23年度RI会長を紹介させていただきます。職業は、ラジオ・テレビ番組の制作、企業の動画制作などを専門にする Media Street Production Inc.の創業者で、現在社長、ウインザー大学の理事長、ウインザー・エセックス地域商工会議所会頭を歴任、ロータリー歴 1997年 入会地区ガバナー・モデレーター・委員会委員長 研修リーダー・理事・RI副会長を歴任 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞 アーチ・クラフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員

1905年にロータリーが誕生して以来117年目にして初めて女性のRI会長の誕生という事で今年度は、ロータリーの歴史に残る年度となります。

右下の写真がパートナーのご主人です。彼もロータリアンで、職業は内科医 2024-25年のガバナーに決まっています。



RI会長は、想像して下さい「私たちがベストを尽くせる世界を」想像して下さい「私たちが変化をもたらせることができる世界を」やさしさ、希望、愛、平和を想像して下さい。イマジンとは、未来を描くことです。その未来の夢を実現するために行動するかどうかを決めるのは私達です。ロータリーのような団体が、ポリオの根絶・平和の実現といった大きな夢を抱くなら、それを実現させる責任は自分たちにあります。その実現のためにロータリーのつながりと力を生かしましょう。と私たちに呼びかけられました。

RI会長テーマロゴ



詳しいスピーチの内容については、7月号の月信をお読みください。そして、これが、今年度のテーマとロゴになります。RI会長のテーマは、「イマジン ロータリー」であります。ロゴの説明をします。色についてですが、パープルはポリオ根絶、グリーンは環境、白は平和をイメージしています。パープルの輪は人々のつながり、輪の周りの点は、集まっている人々、それと7つの重点分野、輪と点との組み合わせは、私たちの行く先を先導する星をイメージしています。下のグリーンの線は、ロータリアンが奉仕活動に立ち向かう時に使う道具をイメージしています。

2. RIの戦略計画

①ビジョン声明

私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています

柔軟性導入後の世界の会員数

2016年7月柔軟性を導入

2017年6月	1,202,937人 (4,969人減)
2018年6月	1,195,107人 (7,830人減)
2019年6月	1,189,271人 (5,836人減)

②戦略的優先事項 (行動計画)

より大きなインパクトをもたらす

参加者の基盤を広げる

参加者の積極的なかわりを促す

適応力を高める

③中核的価値観

奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ



RIの戦略計画には、4つの項目があります。

1つ目は、ビジョン声明です。RIは、2016年、2019年の規定審議会において組織運営に大幅な革新性・柔軟性を取り入れ、入会のハードルを下げることによって、会員の減少を食い止めると同時に、増強を図ってきましたが、右の表で見ていただいたように減少が止まりませんでした。そこで、RIは、ロータリーを拡大していくためには共通した方向性とロータリーが目指す姿を、世界中のロータリアンに示す必要があると判断し、2018年にビジョン声明を発表しました。

2つ目は、このビジョン声明を達成するために戦略的優先事項として4つの行動計画です。そして、ここで重要なことは、「より大きなインパクトをもたらす」には参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促す必要があり、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促すためには、地区やクラブも「適応力を高め」、地域社会のニーズに合った適切な運営が必要になってきます。つまりこれらの4つの行動計画はセットで考えなければならないという事です。このことは大事なことですののでしっかり理解しておいて下さい。

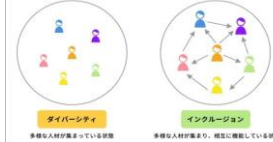
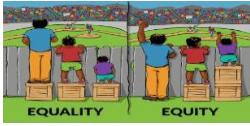
3つ目は、ロータリアンの基本となる行動指針を記した「奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ」といった中核的価値観です。戦略計画の内容が変わったとしても、中核的価値観は不変のものでありますのでしっかりと頭の中に入れておいてください。

④多様性・公平さ・インクルージョン DEI



Diversity (多様性) あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。
Equity (公平さ) クラブ会員の公平な扱いと機会（奉仕、親睦、リーダーシップ等）の均等を保つよう努めます。
Inclusion (インクルージョン) あらゆる人が歓迎されると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます。（会員の帰属意識の発揚を目指します）

方針 → ロータリーは、すべての人と、尊敬と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳を傾け、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会をもうける事に力を注いでいきます。



4つ目は、今年度の重点テーマである、2019年に理事会が採択したDEI、つまり「多様性・公平さ・インクルージョン」の推進であります。つまりRIの方針として、ロータリーが、すべての人と、尊敬と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳を傾け、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会をもうける事に力を注いでいくという事です。ダイバーシティ（多様性）とは：あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎するという事です。エキويتي（公平さ）とは：クラブ会員の公平な扱いと、機会の均等を保つように努めるという事です。インクルージョンとは：簡単に言うと帰属意識の事です。あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるインクルーシブなクラブ環境づくりに力を注いでいくという事です。これだけでは、大変分かりにくいと思いますので、この絵を見ていただくとイメージがしやすいと思います。平等と公平の違いは、平等（Equality）個人の違いは視野に入れず全員に平等なものが提供される事、公平（Equity）個人の違いを考慮し、それぞれに公平な機会が提供される事、そして、ダイバーシティとインクルージョンとはこの右下の絵のようなことを言っています。つまり、誰もが活躍できる組織ということです。

多様性・公平さ・インクルージョンの必要性 DEI

「DEI」導入の必要性

戦略的優先事項である「4つの行動計画」の積極的な推進のため

ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、ロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織にすることが必要



毎年15万人の新会員が入ってきても、同じくらいの数の会員が退会してしまう。

その50%が入会3年未満の会員

ロータリーの魅力を体験しないまま退会する事はロータリーにとっては大きなマイナス

退会防止対策は、

すべての会員がロータリーとの強いつながりを実感出来ること。クラブに対して心地良さを感ずる事ができる環境と会員への配慮（インクルーシブな環境・帰属意識が持てる）

それでは、なぜRIがDEIの導入が必要だと言っ

ているかと申しますと、

- ①戦略的優先事項である「4つの行動計画」の積極的な推進のため。
- ②現在、会員数が伸び悩んでいる中、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるためには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織にしていく事が必要であると考えからであります。

現実には、毎年約15万人の新入会員が入ってきても、同じくらいの数の会員が裏口から出て行ってしまいます。そして、その退会者の約50%が入会3年未満の会員であるというのが現状です。ロータリーの良さを理解しないまま退会してしまう事は、ロータリーにとっては大きなマイナスであります。このような状況を改善するためには、すべての会員が、ロータリーとの強いつながりが実感でき、クラブに対して心地よさを感じる事、そして、会員への配慮が必要であり、クラブの成長には、インクルーシブなクラブ環境が必要であるという事です。クラブ会長さんは、クラブ一丸となって、このような「インクルーシブなクラブ環境づくり」に力を注いでいただき、会員増強・退会防止につなげていただきたいと思います。ロータリーの最大の財産は、「会員」であります。どうぞよろしくお願ひします。以上、4項目がRIの戦略計画の内容となっております。

2. RIの戦略計画

国際ロータリーの方針

- ① ロータリーの成長が戦略計画の重要な要素
- ② 最優先事項 ポリオ根絶活動
ポリオ根絶運動は世界に誇れる人道支援運動
2,000万人以上の子供を小児麻痺から救った
*チャリティーナビゲーターから14年連続最高評価の4つ星を獲得（全体の1%）
- ③ 最重要事項 会員増強
成長を支えるためには会員増強は重要なテーマ



最近のロータリーは「金集め・人集め」の団体になっているといわれる原因にもなっている



次に、RIの方針について報告します。

- ①ロータリーの成長がRIの戦略計画の重要な要素であります。

歴代RI会長のスピーチの中にも「成長」つまり（Grow）という言葉がよく出てきます。

ジェニファー・ジョーンズRI会長は、「いつも笑い、夢を描き、希望を抱き、そして成長しよ

う」と言っています。このように「成長」という言葉が RI の「キーワード」になっています。

② ロータリーの最優先事項は、ポリオ根絶活動であります。ポリオ根絶運動はロータリーが世界に誇れる人道的支援運動でありであります。今までに 2,000 万人以上の子供達を小児麻痺から救ったと言われていています。現在、ポリオの発症例は、アフガニスタン、パキスタンの 2 国を残すまでとなり 99.9%の達成が報告され、あと一歩のところまで来ています。

③ 最重要事項は、会員増強であります。これは、ロータリーの成長を支えるためには会員増強は重要なテーマという事です。

これら 3 つが RI の具体的な方針であります。

しかし、これが、最近のロータリーは「金集め」「人集め」の団体になったと言われる原因にもなっているのも事実でないでしょうか？

3. 地区スローガン

現在、RI 含む世界のロータリーが目指している方向

RI は、ロータリー財団と一体となり、「奉仕の実践」に重点を置き「世界で良いことをしよう」(ロータリー財団の標語)「ロータリアンは世界を変える行動人」

世界有数なボランティア団体を目指している。「ビジョン声明」、RI 会長のスピーチにもこの RI の方向性がよく表れている

先進国の会員が減少して、発展途上国の会員が増加していく現状を考えると益々、人道的支援活動を中心としたロータリー活動が RI の活動の中心となる傾向にある



続いて、ガバナー方針であります地区スローガンについて発表させていただきます。その前に、まず、ロータリーの現状を理解してもらうために現在の RI を含む世界のロータリーの状況と、今、RI が目指そうとしている方向について報告させていただきます。要するに、RI は、ロータリー財団と一体となり、「世界で良いことをしよう」そして、「ロータリアンは世界を変える行動人」を旗印に世界有数なボランティア団体を目指そうとしています。これが今の RI の現状です。今回の「ビジョン声明」・最近の RI 会長のスピーチにもこの RI の方向性がよく表れています。先進国の会員が減少して、発展途上国の会員が増加していく現状を考えると、人道的支援活動を中心としたロータリー活動が、これから益々 RI の活動の中心となる傾向にあります。

3. 地区スローガン (ロータリーのキャッチフレーズ)

ロータリー運動を表す言葉

1947年~2013年

~~ENTER TO LEARN, GO FORTH TO SERVE~~
「入りて学び、出でて奉仕せよ」

2014年~

JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION

「リーダーのネットワークを広げ、アイデアを交換し、行動しよう」。

奉仕を学ぶより、奉仕の実践に力点

||

People of Action 世界を変える行動人

Rotary

ロータリー運動を最もよく表す「ロータリーのキャッチフレーズ」がこのように変わりました。1947~2013 年までは、「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」、「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、突如 2014 年からこの様に「JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS TAKE ACTION」に変わりました。リーダーのネットワークを広げ、アイデアを交換し、行動しようであります。つまり、「学ぶことより、まずは行動しよう」がロータリー運動の前面に出てきたという現れです。この様に、今のロータリー運動は「奉仕の理念を学ぶ」より「奉仕の実践」に力点を置いた内容に変わってきている。という事です。

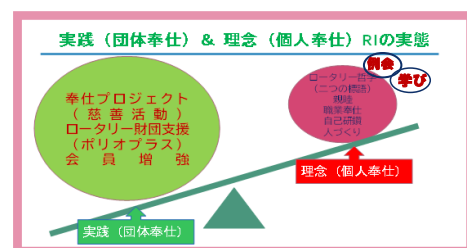
国際協議会の会場



Rotary

この写真は国際協議会の入り口の写真です。この様に看板が変わっています。

3. 地区スローガン「RIを含む世界のロータリーの現況」



Rotary

つまり、RI を含む世界のロータリーの現状を私流に図で表すとこのような感じになります。

3. 地区スローガン

人道支援は、その成果があつてこそロータリーの認知度が上がり、仲間が増え、奉仕の理念が広がっていく
人道支援活動・慈善活動は、ロータリーの重要な奉仕活動であります

決議23-34 第4条
奉仕する者は行動しなければならない。ロータリーとは単なる心構えの事を言うのではなく、(中略)ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない

ポールハリスの言葉
ロータリーの奉仕と言えば、その根源は人格の向上である事は間違いありません。しかし、その改善を実証するためには、すべての点において行動しなければなりません。

「奉仕の心を行動へ、行動するにはまず心である」



Rotary 

もちろん人道支援活動はロータリーの重要な奉仕活動でもあり、ロータリー財団が目標とする7つの重点分野でもあります。助けが必要な人がいれば、手を差し伸べることはロータリーにとって当然の事です。こうした人道支援活動の成果があつてこそロータリーの認知度が上がり、仲間が増え、奉仕の輪が広がっていくという事に間違いはありません。決議23-34 第4条にも、「奉仕する者は、行動しなければならない。従つてロータリーとは単なる心構えの事を言うのではなく、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない」と謳つてある。ポールハリスは、ロータリーの奉仕と言えば、その根源は人格の向上である事は間違いありません。しかし、その改善を実証するためには、すべての点において行動しなければなりません。「奉仕の心を行動へ、行動するにはまず心である」と言っています。つまり、ロータリーの基本は個人奉仕であるが、時と場合によっては団体奉仕も必要であるという事です。

3. 地区スローガン

ロータリーの基本理念 (奉仕活動の根底にあるもの)

ロータリーの原点：倫理運動体
(教育的要素を持った団体)

親睦と職業奉仕を根幹として常に奉仕の心を胸に奉仕の実践に努め、自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った真のロータリアンを育てる。

「例会は人生の道場」「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神で

「ロータリーは心育て、人を育てる」奉仕団体である

ロータリアンの責務

日常生活・職場・地域社会においてロータリアン以外の人たちと奉仕の理念を分かち合い、職業倫理・道徳・奉仕の理念を広めていく。

Rotary 

しかし、最も大切なことは、ロータリーはただの奉仕団体ではないという事です。その根底には、100年以上にわたつて先人達が培ってきた、親睦と職業奉仕を根幹としたロータリーの基本理念がありません。そして、ロータリーは、これらを土台とした倫理運動体という教育的要素を持った団体であるとい

う事です。ロータリーの本質は、人に寄り添い、人間が本来生まれながらに持っている「人のために役立ちたいと思う・利他の心」を養い、親睦・奉仕の実践を通じて自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った「真のロータリアン」を育てることです。

そして、その学びの場所が「例会」であるという事です。米山梅吉翁は、「例会は人生の道場」と言いました。「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神でもと、「心を育て、人を育てる」のがロータリーであります。また、ロータリアンにはもう一つの役目があります。それは、日常生活・職場・地域社会においてロータリアン以外の人たちと「奉仕の理念」を分かち合い、職業倫理・道徳・奉仕の理念を広めていかなければならないという事です。つまり、ロータリーの外部での「人づくり」であります。こうした事もロータリアンとしての大事な責務であります。

3. 地区スローガン

歴代RI会長のスピーチ

Rotary 



1954-55年度RI会長 Herbert Taylor

Rotary is maker of friendship and builder of men
「ロータリーは友情を育み、人を作る。 人格者を育てる」

1974-75年度RI会長 William Robbins

Rotary's first job is to build men

「ロータリーが最初に行うべきことは人づくり」
ロータリーの価値は、クラブの規模や会員数ではなく、クラブが如何なる人を育てたかによって測られる。



RI 歴代会長は次のように言っています。

1954-55 年度 RI 会長 Herbert Taylor

Rotary is maker of friendship and builder of men

「ロータリーは友情を育み、人を作る。 人格者を育てる」

1974-75 年度 RI 会長 William Robbins

Rotary's first job is to build men

「ロータリーが最初に行うべきことは人づくり」

ロータリーの価値は、クラブの規模や会員数ではなく、クラブが如何なる人を育てたかによって測られる。

3. 地区スローガン

理想的なロータリー活動とは

中核的価値観（親睦・奉仕・多様性・高潔性・リーダーシップ）を基盤に「理念と実践」をうまくバランスを図りながら活動

米山梅吉翁曰く

ロータリーは理論と実践の調和の中に宿る理論も大事ではあるが、実践も大事であるしかし、実践を強調するあまり理論を軽視する事はダメ

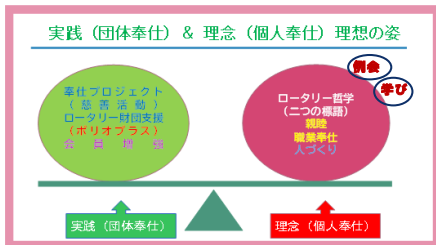


既に今日のロータリーの状況を予見していたのかもしれない



そこで、私が考える理想的なロータリー活動とはどのようなものかと申しますと、中核的価値観を基盤に、「心を育て、人を育てる」といった「奉仕の理念」と「奉仕活動」といった「奉仕の実践」をうまくバランスを図りながら活動する事であると思っています。米山梅吉翁も、ロータリーは「理論と実践の調和」の中に宿る。理論も大事ではあるが、実践も大事である。しかし、実践を強調するあまり理論を軽視する事はダメと言っています。米山梅吉翁は、既に今日のロータリーの状況を予見していたのかもしれない。

3. 地区スローガン



つまり、理想的なロータリーとは、図で表しますとこのようなバランスの取れた感じになります。

3. 地区スローガン

今こそ、原点に立ち返ろう

私たちは、世界のロータリー活動が「実践」中心的な状況の中、親睦と職業奉仕を根幹に「ロータリーの心と原点」をより一層大切に、理念と実践の調和を図りながら、先人達が100年の歴史の中で培ってきた日本のロータリー文化を守り続けていかなければならないと思います。



ジェニファー・ジョーンズRI会長のスピーチ

より良い世界を想像し、その夢を実現するために、ロータリーのつながりと力を生かし、行動に移しましょう。イマジンは、やさしさ・愛・希望・平和を想像し、明るい未来を描くことです。



ロータリーは、先ほど話をしましたように過去20年間様々な戦略計画を立て、会員増強に励んできましたが、会員は、現在約120万人をピークになかなか増えません。先進国の会員数が減って、その分

を発展途上国の会員数の増加で補っているのが現状です。今こそ、私達は、原点に立ち返り、創立者であるポールハリスが、あるいは、米山梅吉翁がどのような「想い」でロータリークラブを作ったのか、そして、ロータリーの基礎を築いてきた先人たちの足跡を振り返って考えてみる必要があるのではないかと思います。現在のように「成長ありき」の戦略計画を立て、ルールを緩和し、人道的支援活動に重点を置いたRIの方針は、益々ロータリーの本来の魅力がなくし、「ロータリアンとしての誇り」が失われていくように感じています。私たちは、世界のロータリー活動が「学びより実践に重点を置いた」状況の中、より一層「ロータリーの心と原点」を大切に、理念と実践の調和を図りながら、先人達が100年の歴史の中で培ってきた日本のロータリー文化を守り続けていかなければならないと思います。さらに、ジェニファー・ジョーンズ会長が、私たちに「大きな夢を叶えたロータリーを想像して行動し、その実現のためにロータリーの方とつながりを活かしましょう」と呼びかけられました。RI会長のテーマ「イマジン ロータリー」に込められた「明るい未来への熱い想い」をしっかりと受け止め地区スローガンを

「ロータリーの心と原点」を大切に描こう明るい未来を

「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」



とさせていただきます。

3. 地区スローガン

ロータリーの心とは

- ① 親睦：寛容の心を基盤とした友愛・信頼
- ② 2つのモットー
・超我の奉仕
・最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
- ③ 四つのテスト

ロータリーの原点とは

人づくり（高い倫理基準・道徳心）
真のロータリアンを育てる
（奉仕の理念を胸に常に行動する）

時流に流されず、自分たちの信じる道を堂々と歩んでいきたい

これが私たちの「イマジン ロータリー」です



ロータリーの心とは

- ① 親睦：寛容の心を基盤とした友愛・信頼の心
- ② 2つのモットーである

- ・超我の奉仕
- ・最もよく奉仕する者、最も多く報られる

③ 四つのテスト（職業奉仕の行動指針）

ロータリーの原点とは、先ほども申し上げたように高い倫理基準・道徳心を持った人づくり、「魅力あるロータリアン」を育て、魅力あるクラブづくりに繋げていきましょう。時流に流されず、心豊かで平和な社会を心に描き、その実現に向け自分たちの信じる道を堂々と歩んでいきたいと思えます。これが私たちの「イマジン ロータリー」です。

4. 地区活動方針

- ① RI会長テーマおよび強調事項の推進
- ② RI戦略計画の推進
- ③ 会員増強・会員維持・クラブ拡大
- ④ RIロータリー賞への積極的なチャレンジ
- ⑤ 青少年育成事業の推進
- ⑥ ロータリー財団補助金の積極的活用
ロータリー財団支援「寄付への理解と推進」
- ⑦ 米山記念奨学事業への参加と支援



次に地区活動方針について発表させていただきます。詳しい内容については7月号の月信をご覧ください。

4. 地区活動方針

強調事項

- ① 地区の女性会員比率%達成を目指す
RIの目標:2023年6月末
女性会員比率 30% 達成



- ② マイロータリー登録率 50%達成を目指す



- ① 地区の女性会員比率 8%達成を目指す
110 か国はすでに女性比率 30%を達成しています。日本の平均は約 8%で、世界の平均は 25%となっています。残念ながら当地区は女性会員比率 5.7%です。1クラブ 1名の女性会員を増員していただきますと目標の 8%になります。
- ② マイロータリー登録率 50%達成を目指す
当地区のマイロータリーの登録率は現状 25%弱です。日本の平均が 40%くらいです。マイロータリーには参考になるリソースが多く含まれていますので是非活用していただきたいと思えます。

4. 地区活動方針

検討事項

バスジャックプロジェクト (仮称) 市内を走るバスに「ポリオ根絶」をラッピング



グループ単位でポリオ根絶の街頭募金活動



1. バスジャック プロジェクト
市内を走るバスに「ポリオ根絶の広告」をラッピング。ロータリーのポリオ根絶活動を市民の人にも知ってもらい、ロータリーの公共イメージ向上につなげていきたいと思えます。
2. グループ単位でポリオ根絶の街頭募金活動の実施
こうした活動内容を新聞、SNSなどのメディアを使って発信していただき、ロータリーの公共イメージ向上、さらにはクラブ活性化に繋がればいいと思っています。

最後に、地区大会のご案内をさせていただきます。日程は、10月22日、23日です。場所は、長良川国際会議場・都ホテル岐阜長良川です。多数のご参加お待ちしております。

*出席委員会

会員数 29名、本日の出席 19名です。

*ニコボックス委員会

- ・会長・副会長、幹事
国際ロータリー第2630地区ガバナー高橋伸治様及び役員の皆様の公式訪問を歓迎致します。本日は宜しくお願い致します。

19名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

- ・地区大会の登録申込が明日まで可能ですので、ぜひお申込みください。

<次例会の案内>

第2078回 2022年9月15日(木)

会員卓話 後藤 政之会員
北原 慎 会員
長谷部貴司会員
テーマ 「私の職業」
担当 職業奉仕委員会